

**ご卒業 おめでとうございます！**

昨年は、大阪府北部にとって自然災害の多い年でした。地震、台風、大雨と皆様方におかれましてはそれぞれ大小被害に遭われた事と存じます。いまだに屋根にはブルーシートが張られてある家も多数見受けられます。皆様方のご自宅・ご家族やご親戚、知人・友人で被害に遭われた方々に改めてお見舞い申し上げます。

さて、ONCCも開校以来7期生を迎える事になります。今年は5期生の2年制クラス⇨1学科と6期生の1年制クラス8学科の皆様が卒業されます。また、6期生2学科の皆さんが修了式を迎えられます。

ONCC立ち上げ当時は、2年制学科が好評でしたが、昨今、再受講生の方が増えてまいりました。

受講生の皆様の平均年齢も年々、上がっています。

人生100年時代の到来、100歳人生を生き抜くためには、人生のどこかの段階で、改めて自分と向き合い、「人間とは何か」と自身に問いかける事が必要になってきます。これからは⇨それまで培ってきたキャリアやスキルを棚卸し、何を拠り所にして、自分らしく、どのように生きていくのかを決めるためには、「知の再武装」が必要になってきます。その知の対象が歴史・文化であれ、経済、芸術であれ、年を重ねていきつつ、新しい事に挑戦しながら吸収し、自分自身の「知の再武装」として生涯学習で学び、高齢化が進む現代に可能性求めていける場としてのONCCが、その存在であり続けたいと願っています。

先日から各科の学習成果発表会に参観させて頂き、1年間の成果を見させて頂いております。

学んだことを、卒業後、実践につなげていかれる科などもあり、改めて皆様のパワーには驚いています。

卒業式を目前に、訃報のお知らせをしなくてはなりません。ONCC立ち上げ時からの一緒に活動してまいりました常任理事(事業部長)の内田さんが亡くなられたことは、残念で仕方ありません。

皆様の中にも公開講座や以前よりご存知の方も多くおられると存じます。人生100歳時代、まだまだこれからという時の突然の死は今も信じられない思いでいます。

紙面お借りして謹んでご冥福お祈り申し上げます(合掌)。

自分の番

「生まれかわり 死にかわり 永遠の過去のいのちをうけついで

いまここに 自分の番を 生きている それが あなたのいのちです それが わたしのいのちです」

※相田みつをさんの「にんげんだもの」から引用させて頂きました。

大阪府北部コミュニティカレッジ 理事長 猪谷 義弘

ONCC 設立6周年記念行事「講演と音楽の集い」報告

6周年を迎えたことへの猪谷理事長の感謝の言葉で始まり、ご来賓の豊中市健康福祉部次長 今井正様に長内繁樹豊中市長からのONCCへの温かいエールのご祝辞のご代読をいただいて開演いたしました。

第1部「日本語を愉しもう！」

日本古典文学をはじめとする和文化や日本語の面白さ研究などに造詣の深い大阪教育大学 小野恭靖教授による講演では、普段何気なく使っている日本語の不思議さを、歴史的成り立ちや右詰め縦書きであったのが、



欧米言語やパソコン使用などから左詰め横書きが主流になったり、縦書きであった時にできた合字も横書きになるとギャル文字が生まれてきたこと。また、数字の読み方、数字表記、数字の位取りも日本語と英語とは違うことや、音読みと訓読みによる読みの違いなど、例を挙げながらの話に改めて考え直す機会を与えていただきました。

「日本」にっぽん・じっぽん・ジパング・ジャパンの話などに興味を惹かれ、まだまだ聞いていたかったので、時間の制約で終えられたのが残念でした。

4月から「日本古典文学と仏教」と題して小野先生の公開講座も始まります。

是非どうぞお申し込みを!!

第2部「サクソフォーン四重奏コンサート」



大阪音楽大学の大学院生と専攻科の在学生4人の若い奏者で「日本の四季によるミニチュアシンフォニー『秋』」のオープニング演奏のあと、4人の奏者とソプラノサクソ、テノールサクソ、アルトサクソ、バリトンサクソの楽器の紹介をしていただきました。

会場の皆さんは耳馴染みのある選曲にこころ躍り、タンゴの演奏にはステップを踏みたくなった方も沢山おられたようでした。MCの崔勝貴さんのほのぼのとした語り心と心なやませてください、彼らがONCCの50周年には受講生として参加をしたいと思いますので、それまでこのONCCが続くことを願って閉会といたしました。

大学提携授業（梅花女子大学・立命館大学）

平成30年度 第1回(平成30年12月12日)梅花女子大学 看護保健学部 口腔保健学科 小島 美樹 教授

第1部 講義のテーマ 「健康長寿の秘訣は口にあり」



最近、テレビなどでもよく取り上げられている「お口の健康」ですが、小島先生から科学的に証明されているお話を聞かせて頂いて、「口の中のケア」がどれだけ大事かが良く分かりました。

活力と免疫力を高めるためにも、20本の歯(入れ歯でも)でしっかり噛んで、いつまでも健康な生活を送られるようにしましょう。

第2部 梅花歌劇団「劇団この花」によるパフォーマンス

「劇団この花」の皆さんに、ミュージカルの中の2曲を披露していただき、躍動感のあるダンスと歌に元気をもらいました。

平成30年度 第2回(平成31年2月13日)立命館大学 経営学部 経営学科 石崎 祥之 教授

講義のテーマ 「新時代の大阪観光の可能性」

日本観光経営学会の会長で、経営学者・観光学者、テーマパークの運営に詳しく、観光政策の専門家である石崎祥之先生に「新時代の大阪観光の可能性」について、講義をして頂きました。

事例が豊富で、インバウンドブームの歴史的流れやIRについての外国の例などを示しながら、大阪の観光について話をしてもらいました。観光の持っている力は大きくて、時代の様子も変えていきます。

石崎先生は受講生にクイズや質問をされ、受講生も手を挙げて答えるなど楽しい講義になりました。

声：3K⇒教育・環境・観光から始まり、どっちへ広がって行くのかとわくわくでした。あっという間に終わってしまった講義でしたので、もう少し時間が長かったら、どんな内容の話の聞けたかと思いました。



この科で1年間学んできましたが、社会の変化の目まぐるしさについていくのがやっとでした。

学びの中で何か地域でお手伝いできないかと思い、今ボランティアをいくつかさせていただいております。新崎先生に最初に教わった「今日行く」と「今日用」今も心に残っています。少しでも元気な私たちが、少しでも手を差し伸べれば生活が豊かになれる人たちが沢山いることも学びました。

今できることを仲間と一緒に、自分も楽しく無理なく長く続けていけるように体に気を付けて頑張っていこうと思います。

先生方、CAさん、そしてクラスの皆様ありがとうございました。

楽しい1年間でした。【文：岸村史代】



健康スポーツ科 6期生 吹田教室



「西国街道を…」クラスに2年通い、集団歩きにいささか疲れ、「健康スポーツ科」にお世話になったこの1年。クラスの方々にも恵まれた1年でした。

思い出深いのは、交流祭のあり方について、クラスの意見をCAさんが懸命に聴き取られ、学校側に伝える際の姿で、その努力には頭が下がる思いでした。

「健康スポーツ科」ではニュースポーツ、体力チェックを含め、それはそれで良かったです。

益々健康を維持し、酒と海・山遊びが好きな不良老人を目指し頑張っていけます。【文：井野俊樹】

「健スポ科」で勉強してきたことをジャンル分けすると、①「口腔と体力」の座学、②ニュースポーツの体験（パークゴルフ・ペタンク・ウォークラリー等8種類）、③校外活動（紀泉わいわい村・六甲・緑地公園・鞍馬寺・街歩き・武庫川廃線敷跡）であったが、いずれも活発で楽しく真剣に取り組んでおられたことに、これからのニッポンまだ大丈夫！！と安心しました。

なんと言っても、講師である「重ちゃん」のお話が、分かりやすく、テンポが良く元気を貰える、楽しいものばかりでした。感服・感謝に尽きます。

健康につながる5つのキーワード即ち、①健康…もっとも最後まで 持ち続けて行きたいもの、②家族、③役割（社会での）…先に捨てても良いもの、④お金、⑤友人。この5つの項目が少しずつリンクしていくことが、健康に繋がることを学びました。【文：CA 中田利男】



美とアートを巡る科 6期生 豊中教室



【文：石井正英】

この1年小村講師、土方講師をはじめ、クラスアドバイザーお二人のご指導のお蔭で、楽しく充実した日々を送ることが出来ました。有難うございました。

変化に富んだ、予想を遥かに超えた学習内容に、没頭し、堪能し、次週が待ち遠しい思いをしてきました。

期待でいっぱい4月から1年がたち、私達なりに美とアートへの観察力・洞察力が磨かれ、これからの日々も豊かな毎日を送れそうです。つくづく美とアートを巡る科を専攻して正解だったと痛感している次第です。

最後、「色からみる美術」を受講し、思わず自分やクラスメイトの衣服・持ち物などを新鮮な気持ちで観察しました。今後我々自身のイメージアップができそうです。

美とアートを巡る科の1年間は、いろいろなことがありました。授業はおもに西洋美術と日本美術ですが、ほかに美術の東西交流や現代美術などもありました。

美術館巡りでは、大阪市立美術館、東洋陶磁美術館、中之島香雪美術館、兵庫県立美術館、国立国際美術館、京都国立近代美術館、西宮市大谷記念美術館、などでたくさんの作品を鑑賞することができました。神戸竹中大工道具館も行きました。

鉛筆・水彩・油彩のトークとデモンストレーションもありましたし、サビーナと音楽を楽しむこともできました。梅花女子大学や立命館大学で連携授業も受けました。今は学習成果発表会の準備をしています。それが済んだら卒業式で終わります。

講師の先生やクラスアシスタントの皆様有難うございました。【文：御給伸枝】



西園街道と摂津名所図会探訪科 6期生 茨木教室

ただ単に座ったままで講義を受けるのは、退屈すぎるし、かと言って健康目的のみのハイキングも面白くないだろうからとこの講座に申し込みました。期待通りの楽しい1年でした。



専門の先生から古代、中世、そして近世の歴史のレクチャーを受け、その知識をもとに、私たちが今住んでいる北摂の町や山や道を探訪しました。結構な距離を歩くこともありましたが、本を読むより、より身近に具体的な歴史を感じられ、知的な刺激を受けました。

なによりも、探訪や講義の後の仲間たちとの語らい(飲み会)が、さらにこの講座の魅力を倍増したことを付け加えます。講座で初めて出会った方々でしたが、これからの生活に彩を添えてくれる仲間が増えました。【文: 野崎勝彦】

茨木神社宮司による古代茨木の歴史講義から始まり、長岡京跡、長岡天満宮、茨木城址、東寺など摂津名所図会に沿っての探訪は歴史に不案内な私でも十分楽しめました。

摂津市に住んで25年になりますが大阪市内への通勤、遊びも大阪・神戸、京都には出かけても高槻、茨木、伊丹、尼崎に足を向ける事も余り有りませんでした。今回探訪で近くの古い町には良い所が沢山有ると改めて気づきました。

ONCCは2年目ですが前回のアウトドア科に続き今回も皆勤賞目指しています。これからも色々な活動を通じて、元気な70代を過ごして行きたいと思っています。【文: 宮本一美】



武士の起こりから応仁の乱へ (中世史) 6期生 茨木教室



光陰矢の如し、はや卒業式です。振り返って、授業では中世史としての武家政権(幕府)による支配を特徴とした鎌倉幕府成立(1192年)から室町幕府の滅亡(1573年)までのおよそ4世紀の期間について学びました。

なかでも蒙古襲来、建武の新政(後醍醐天皇)、南北朝時代(迭立と合一)などに興味深く印象に残っています。

一方、校外学習がふるさと信州での喜寿記念同窓会と重なり欠席でしたが、ふれあい交流祭・成果発表会は「現代につながる室町文化」をテーマとして3班全員での取り組みに参加できました。

年間の出席率90%は上出来、自身をほめてやりたいと思います。【文: 森田英寿】

日本の歴史の中で、日本人がアイデンティティを獲得しようとした激動の中世を学ぼうと45人が集った中世史クラスも、先週の応仁の乱の講義を終えましたが、その争いの複雑さも若井先生のユーモアを交えた判りやすい説明で理解できた生徒も多かったと思います。

春には晴天の妙見の森でバーベキューパーティ、新緑を満喫しながら親睦を深め、秋には南北朝内乱ゆかりの地探訪、住吉大社で歴代神主津守家の社、安倍清明社、北畠顕家の墓、楠正行義戦の地渡辺津跡を生駒先生のエネルギーあふれる案内で見学し、その背景を学びました。

混とんとした激動の鎌倉・室町時代を最新の研究成果を交えて講義いただき、楽しい学びの時を過ごす事ができました。【文: 久慈良政】



戦国争乱から大政奉還へ (近世史) 6期生 豊中教室

近世史で一番思い出に残ったのは校外学習でした。



中村先生がなぜこの“伏見城跡・武家地跡を歩く”に決めた理由を話され、散策を始めました。豊臣秀吉の最後の本拠地だけでなく、徳川家康・秀忠・秀光の徳川三代の征夷太將軍の宣下を受けた拠点で京都を無視することができない時代でした。当時、ここが日本の中心地でした。全国の大名家敷が全てここに作られ、江戸が將軍のお膝下で全国の大名家敷が作られたのも、江戸幕府の先駆で手本としたのです。幻と言われた最初の伏見城(指月城跡)と秀吉最晩年と家光が將軍宣下を受けた木幡山伏見城跡や武家地跡や舟入の場所になぜ大土木工事など行われたか、また、いたるところに地名が残るか説明を聴くとよく理解できました。

先生が言われた『何でも見落とすまいという意識で歩いてください。そうすると明らかに違和感が見えてきます』という言葉はこれからの探訪に生か

て行きたい。【文: 武田 通夫】

“光陰矢の如し”一日一日の日が経つのが早い事を実感しております。

私は古代、中世、近世と色々な先生方の講義を学んできましたが、本当にこの「戦国争乱から大政奉還へ」は最も楽しみにしていた科目でした。中村先生の講義レジュメ以外の事も、史実の解釈には諸説があり、確証と推察に加え、自説を交えて本当に熱く教えて頂き楽しく受講させて頂きました。

又、ふれあい交流祭は各々の班のテーマに沿って夏休みも炎天下の中、皆様と共に足跡をたどりその後は必ず、反省会と称して一杯！本当に楽しく充実した1年でした。

先生を始め、アシスタントのお二人様、クラスの皆様、ありがとうございました。【文： 松永美枝子】



世界史の中の音楽を学ぶ科 特別講座 池田教室

音楽の素養がない私にとって、講座についていけるか当初は不安でいっぱいでした。



松本先生は原始社会から、ギリシャ神話、ローマ帝国を経て、現在に至るまで音楽がその時々を背景にして生まれてきたことや、ベートーベンやワグナーなどの名曲の由来やエピソードなど興味深い話を画像や動画などで説明され、大変分かり易いものでした。

また、毎回話された名曲の数々をアンサンブル・サビーナによる生演奏で聴くことができ、最高の喜びでした。いつの間にか最初の不安は全くなり、毎週待ち遠しいものになっていました。ボイストレーニングやコーラス練習もしていただき、新しい発見と音楽による感動を再認識させてもらった素晴らしい講座でした。

た。ありがとうございました。【文： 麻野純生】

ONCCの2期より受講し5年間は「音楽史」を受講しました。

5年間を通じ午前1度、午後1度欠席、但し大学提携授業は曜日の都合で5割の出席でしたが、概ね皆勤出来たのは自身の意欲・健康と家人の理解のお蔭と感謝しています。

市の生涯学習、民間のカルチャーと20年に及びますが、ONCCの学習は午後もあり充実しています。3年間受講した「音楽史」は先生の熱意が伝わる豊富な講義内容、ビデオと毎回アンサンブル・サビーナの生演奏があり楽しく学びました。年に十数回は行くコンサート、特にオペラ鑑賞には大変参考になり、より深く意義あるものになっております。

人生後半にこのように学べることをうれしく思っています。【文： 吉川文紀】



歴史と文学の魅力に迫る 特別講座 摂津教室



光陰矢の如し、あっという間の一年でした。

我々の教室では授業（講義）以外の日に校外活動として希望者教室を積極的に開催して大勢の方々の参加があり、良い仲間づくりと交友を深めることが出来ました。葡萄狩り・ワイナリー見学・試飲、住之江競艇場でボートの知識習得、JR 大回り乗車の旅“近江塩津巡り”、大衆演劇とあまり体験・経験の無かった事を重点に開催しました。

結果！面白かった、楽しかった、良かった。もっとやって欲しいと要望されています。卒業後も同窓会として続けていきたい！

そんな充実の希望者教室も実行した素晴らしい一年間でした。【文： 安藤雅啓】

一昨年の説明会で「予備知識が無くても歓迎しますよ」と言っていただき、思い切って申し込んだ「歴史と文学の魅力に迫る科」。

始まってみると、毎回の講義の楽しい事！講師陣の史実に基づいたお話しにより、昔の教科書や物語などからの人物イメージが大きく塗り替えられることもありました。歴史学習の入り口に立ち、読みたい書籍や訪ねたい場所も増えました。

本来午後の活動が予定されていなかったクラスですがCA黒木さんが調整してくださった特別講座、クラス代表新元さんの講談会、ワイナリー見学や食事会等、一年を通しクラスメイトと楽しく過ごさせていただきました。

卒業後もお付き合いできる仲間ができたことにも心より感謝しています。【文： 〇村泰子】



『2年目に向かって』

OMOTENASHI 科 6期生 YMCA土佐堀校教室



「2年目のおもてなし科へ期待することは何か？」と問えば、目からうろこの一年を通じてさらなる未体験や再認識が得られることです。

講義の度に「ヘエー」「ハアー」「ホー」とうなずく受け身の一年でしたが、2年目は交流、体験、実施と深く、広く、楽しみたいです。

祖母や母から口うるさく言われていた風習やしきたりは、日本文化だったと知り、改めてしっかり勉強しようという意識が変わりました。これからは今まで勉強したことや、触れた知識をアウトプットできるように公私ともに、さらなる精進をしていきたいと思えます。【文： 3班一同】



日本文化を勉強できたら良いかと軽い気持ちで入学してから早一年が過ぎようとしています。

守谷先生の授業は日本文化を多方面から捉えて、テーマごとにわかりやすく説明して下さるので、あっという間に終わります。私たちの記憶に残るように授業に、いろんな工夫をされていました。また校外学習もメンバーとの交流を深めながら、より多くの学びができるように計画されていました。先生やメンバーからのいろんな教えや情報は私の思考を広げてくれました。

2年目は今までの学びを生かしながら、さらに知識を深め、対象となる人の立場に合わせた、おもてなしがさりげなくできるように自己研鑽に努めていきたいと思えます。【文： 谷口紀子】



美術（水彩）科 6期生 高槻教室



一昨年の秋、ギャラリー「けやき」のウィンドウに思わず引き寄せられたのが、土方先生の絵との出会いでした。

翌年、カレッジに入学。良き仲間恵まれ久々のカレッジライフを楽しみつつ、あっという間の一年でした。そして水彩画の奥深さに圧倒され続けた一年でもありました。

毎週、楽しい余談をふんだんに交え、目からウロコの講義は待ち遠しく、また、マジックのような筆運びを間近に見ることができたのは、大きな収穫でした。

「絵画は、すべて自己決定の世界」の言葉を念頭に、次年度は一枚でも多く描いていきたいと思えます。そしてCAさん役員の方の日頃のご尽力に感謝します。【文： 津島敬子】



昨年四月に土方先生の教室に期待を持って入学致しました。

午前の部は先生の愉快な話術での講義、笑いの中で基礎から学ぶ内容は技術力の無い私には大変勉強になっております。午後の実技の時間には、周りの人達の上手な絵を見て自分の力なさに愕然とする日々が続いておりますが、皆さんの優しいフォローのお陰で気持ちが折れることもなく楽しく参加しております。

その様な状況の中、早くも一年が過ぎようとしており、時の流れの速さをつくづく感じる日々ですが、楽しい先生の講義を受けながら、今年はまだ少し真面目に絵を描こうと心新たに致しております。

上手下手はさておき、毎回皆さんにお会いし会話を楽しめる事も喜びです。また一年皆さん宜しくお願い致します。【文： 高橋セツ子】



2019年度 公開文化講座のご案内

毎年好評の「ONCC公開文化講座」を下記の通り開催致します。

受講生だけでなく、一般の方も受講頂けますので、お友達をお誘い合せの上ご参加ください。

講座名・講師	開催期日(10時～11時30分)	開催場所
日本古典文学と仏教 小野 恭靖 先生 大阪教育大学教授	前期: 4月25日～9月12日 後期: 10月10日～3月26日	豊中市 関西アーバン銀行
天皇家の歴史 裏 紫都子 先生 ONCC 歴史文学講師	5月22日～12月14日	茨木市 ローズWAM 他
日本近代文藝の魅力を探る 細川 正義 先生 関西学院大学名誉教授・博士(文学)	2019年5月13日～ 2020年2月10日	茨木市 ローズWAM 他

詳細については、「ONCC 連絡事務所」(電話:06-6151-4461)まで、チラシをご請求ください。

2019年度 主な行事予定

行事名	開催日	開催場所	行事名	開催日	開催場所
入学式	4月8日	吹田市メイシアター	大学提携授業	12月11日	梅花女子大学
ふれあい交流祭	11月27日	豊中市立 文化芸術センター	大学提携授業	2月12日	立命館大学
7周年記念行事 「講演と音楽の集い」	12月4日	豊中市立 文化芸術センター 中ホール	卒業式	3月9日	豊中市立 文化芸術センター 中ホール

ONCC会員の入会のご案内

平成31年度「ONCC正会員」にご加入いただき、ご支援・ご協力のお力添えをお願い申し上げます。

会員の皆様には、各学科・公開講座・イベント等に優先的にご参加いただけます。

下記の豊中連絡事務所へお電話ください。申込書と年会費3,000円の郵便払込用紙を郵送させていただきます。

電話 06-6151-4461 FAX 06-6151-4462

編集後記 平成の時代もあと2ヶ月を切りました。そして今、平成最後の「卒業式」を迎えます。

5月からは新しい元号で、新しい時代が始まります。我々、昭和、平成の時代を過ごしてきたものにとって、新しく始まる時代を確りと見届けなければなりません。そして三つの時代の生活経験を冥途の土産とするならば、新しい時代を少しでも長く、楽しく生きて、先人たちへの土産話としたいものです。その為にも来年には、オリンピックが開催され、2025年には、大阪万博が開催されます。それらを元気で見聞きするために、毎日、毎日少しずつでも身体を鍛え、元気で過ごしましょう。そしてそれらを実現するための一助として、ONCCを有意義に活用し、活気ある毎を送りたいものです。(佐々木)

ご卒業
おめでとう
ございます